

# 淑徳大学社会福祉学会 第33回大会

大会テーマ 『権利擁護における意思決定支援』



淑徳大学

2023年11月25日(土) 13時30分～16時30分まで

淑徳大学 千葉キャンパス 5号館 201教室にて

参加費:学会員・本学学生無料 / 学会員以外 1,000円 <事前申し込み不要>

基調講演 (13:40～14:50)

『障害者の権利擁護を再考する —津久井やまゆり園における意思決定支援の  
取組から—』

淑徳大学 副学長 鈴木敏彦 (社会福祉士)

神奈川県障害者自立支援協議会会長  
神奈川県意思決定支援専門アドバイザー  
横浜市障害者差別解消支援地域協議会会長  
日本相談支援専門員協会監事  
社会福祉士国家試験委員 他

基調講演要旨

津久井やまゆり園事件後、神奈川県は同園の全利用者を対象とする意思決定支援を実施しました。その後、神奈川県では、津久井やまゆり園での経験を踏まえ、意思決定支援の推進をその内容に盛り込んだ「神奈川県当事者目線の障害福祉推進条例」を本年4月に施行するとともに、障害者支援施設向けの「神奈川県版意思決定支援ガイドライン」を策定する等、意思決定支援の全県展開を図っています。

講演者は、平成29年から現在まで、意思決定支援専門アドバイザーとして神奈川県における意思決定支援の展開に関与なさってこられました。基調講演では、障害者の権利擁護の基礎であり、共生社会への道標ともいえる意思決定支援のあり方を論じて頂きます。

パネルディスカッション (15:00～16:25)

テーマ: 『意思決定支援によって、権利擁護が実現できるのか』

パネリスト:

- ・江東区社会福祉協議会権利擁護センター 係長 戸熊紳也氏
- ・若葉泉の里 理事長 伊藤文彦氏
- ・淑徳大学 学長 山口光治氏

コーディネーター: 淑徳大学 副学長 鈴木敏彦氏